

校長あいさつ

校長 片寄 一



新年度が始まり3ヶ月が過ぎようとしています。皆様ご存じのように、本校は今年度より校名を変更し「福島県立大笹生支援学校」となりました。支援という言葉には様々な意味が込められています。

私は、支援ということ、苦手なことやできないところを周りの人に少し手伝ってもらうことで、子ども自身が自分で成長する過程ととらえています。

大笹生支援学校の教育目標は「児童生徒一人一人の自立と社会参加を目指し、たくましい生活力と心豊かな人間の育成」です。進路指導につきましては、小学部から高等部までの学びの連続性を大切にしながら、児童生徒一人一人に合わせた将来的な自立と社会参加の姿を、早い段階から本人、保護者の皆様と一緒に考えることが大切だと思っております。

今年度も保護者進路研修会や進路だよりなどを通して、進路に関する様々な情報をお伝えできるよう、学校も積極的な情報収集に努めてまいります。

子どもたちの「夢」実現を確かなものとするため、関係機関の方々や地域の皆様からの御協力と御支援も、どうぞよろしくお願いいたします。

進路希望調査の集計結果から

5月に、高等部全学年の生徒を対象に進路希望調査を実施しました。

今年度も、進路実現のために、学校、家庭と連携しながら進めていきたいと考えています。

なお、小学部、中学部は第一回、高等部3年生は第二回の進路希望調査を6月30日に配布しましたので、保護者の皆様、ご協力よろしくお願いいたします。

進路指導部 江田 綾

高等部進路希望状況(全108名)

希望内容	希望数	希望率
進学	0人	0%
企業就職	32人	30%
福祉就労	38人	35%
どのような進路を選択するか考慮中	20人	19%
その他	3人	3%
未定・無回答	15人	13%

卒業生体験発表会に参加して

高等部3年1組 A. K

私は5月26日、斎藤真人先輩と旗野美幸先輩の仕事体験の話を聞きました。斎藤真人先輩は、株式会社塚本青果に就職しました。主な仕事は、玉ねぎをネットに入れたり、人参、じゃがいもなど、いろいろな野菜の袋詰めをやっているそうです。休むことなく職場に行き、休みの日は家で休養を取り、次の日の仕事に備えているそうです。自分で判断し、行動することの大切さを知りました。

次に旗野美幸先輩は、Cafe桑の実に就職しました。主な仕事は、キャベツや人参のせん切り、じゃがいもやにんにくなどの野菜切りの仕事を行っているそうです。いろいろな人とお話をしながら仕事に取り組んでいるので、とても楽しいと話していました。また、休みの日は、友達と映画を見たり、ボクシングジムに通ったりしているそうです。高等部作業でのクリーン活動班で身につけたことが今の職場に生きていて話していました。Cafe桑の実で実習する私にとって、とても役に立つお話しをしていただきました。

私も先輩たちのように、いろいろなことに積極的に取り組み、卒業後も仕事に一生懸命に取り組み、立派な社会人になりたいと思います。

前期現場実習を終えて

高等部1年1組 S. S

私は校内実習で「サービス班」として二週間実習をしました。高等部に入学して、初めての前期現場実習だったので、楽しみにしていました。

仕事内容は、ホテル辰巳屋の方からトレンチ（お盆）の持ち方を教えて頂きました。また、ライフサポート会議や保護者進路研修での実践の場を頂きました。難しかったことは、口角を上げて優しく話をすることでした。でも、練習していたおかげで、口角を上げて優しく話すことができました。

今回の実習では、喫茶接客サービスの言葉を覚えるのが大変でしたが、とても楽しく過ごすことができました。サービスとは、どのお客様にも「喜んでいただくこと。」ということが心に残りました。実習で学んだことを忘れずに、これからの自分に生かしていきたいと思います。

高等部3年3組 R. T

ぼくは、保原にある「ボネール」で二週間実習をしました。「ボネール」では、刺し子作りやボネール内のレストラン・カフェでの作業で箸や調味料の補充などをしました。そのほかにも牛乳パックで作る椅子のツール作りやカフェの制服の洗濯物を畳む作業にも取り組みました。初めての作業には緊張しましたが、所員の方がやり方を一つ一つ丁寧に繰り返し教えてくださったのでとても分かりやすかったです。

刺し子は学校でも作ったことがありましたが、一色の糸だけで細かい模様を作るのは、難しかったです。また、カフェの作業では、注文された料理を作って出すだけでなく、お客さんを迎えるためには開店前に様々な準備をする必要があることを知りました。

今回の実習では、いろいろな作業を経験しましたが、製品や料理を作って販売し、お金をもらうためには、丁寧に確実な作業をしなければならないことを学ぶことができました。

さらに実習の最終日、作業終了後には、お別れ会を開いていただき、所員のみなさんから励ましの色紙などもいただきました。充実した実習をさせていただいたことに感謝します。

前期現場実習を振り返って

高等部主事 國分 章夫

高等部の大きな行事のひとつでもあります、前期現場実習が、6月5日（月）～6月16日（金）までの2週間、校内及び校外において実施されました。

主に1年生は校内での実習となり、事業所から材料を提供していただいた①箱折り（菓子箱）、②タオルたたみ（たたんで袋詰め）、③シール（塩ビ管にバーコードシール貼り）、④クリーン活動（校舎内の清掃）⑤リサイクル（飴を袋から出す）などを行いました。さらに、今年は新たな取り組みとして⑥サービス班（喫茶接遇サービス）を実施し、6つの班に分かれての実習となりました。

また、2・3年生を中心とした校外実習は、企業や福祉サービス事業所など計37箇所で開催いたしました。社会に出て働く上では基本的なことですが「挨拶」「返事」「報告」がきちんとできることが重要となってきます。これからも、継続して指導をしていきたいと思っております。

今回の実習を通して、働くことや社会生活を送るために必要なことを実際に学ぶとともに、自分の適性や課題を改めて確認し卒業後の進路「夢」実現を図ることを目指してまいります。今後とも、一人一人自分の進路希望が達成できますよう保護者の皆様の励ましやご協力をよろしくお願いいたします。

高等部教諭 平野 留美

今回の校内実習では、新しく「サービス班」が立ち上げられました。毎年本校からも出場している、福島県特別支援学校作業技能大会の検定種目でもある「喫茶接遇」の内容をもとに、身だしなみや衛生面、正しい言葉遣いやふるまいの実習に取り組みました。初日には、「ホテル辰巳屋運営部 副田幸也」様をお招きして、接客の基本である身だしなみ、お客様との会話で最も多用する「いらっしゃいませ。」「かしこまりました。」等の5大接客用語、トレンチ（お盆）の使い方をご指導いただきました。緊張しながらも、一流のサービスに触れられたことは何よりの素晴らしい経験になりました。

また今回の実習では、ライフサポート会議や保護者進路説明会で、アイスコーヒーのサービスをさせていただきました。つたなさはありましたが、実習後の生徒からは「もっとやってみたい！」と、サービスさせていただく喜び、感謝される嬉しさを実感できたようでした。一人一人に温かい言葉をかけてくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。進路対策費で購入させていただいた素敵なカフェエプロンとカスケットも好評で、制服の大きな力も借りて、自然と背筋が伸び優しい笑顔になることができたようです。

今後は、校内での作業学習の成果を確認するとともに、卒業後の社会参加と自立に向けた課題を探りながら、これからの取り組みにつなげていきたいと思っております。